

- 市道工事にともなう長江崎遺跡発掘調査が完了しました ・P1～2
- 文化財課販売刊行物紹介 遠江国分寺 ・・・・P3
- WEBで文化財だよりを楽しもう! ・・・・P4
- コラム『歴史のたのしみ』渡邊武文 ・・・・P4

市道工事にともなう

ながえさき

長江崎遺跡発掘調査が完了しました



長江崎遺跡発掘調査地点と御厨駅周辺（南が上）

平成28年度から4年かけて15回にわたり発掘調査を行ってきました、市内鎌田にある長江崎遺跡の発掘調査が令和元年12月をもって完了しました。今回の調査は、今年3月に開業したJR御厨駅から南へ延びる市道の拡幅や新設工事に伴う発掘調査です。一連の調査で、磐田原台地の南端の小丘陵上に位置する当遺跡の範囲が東から北側にかけて広がることがわかりました。今後は、発掘調査報告書の刊行に向けて、図面や写真などの記録類の整理と、出土遺物の整理を行います。

今回は、令和元年度の調査成果を中心に速報をお届けします。

【令和元年度の調査の概要】

- 長江崎遺跡第36次～41次調査
- 調査日 令和元年6月～12月
- 調査面積 合計 5,500㎡
- 主な遺構 中世の掘立柱建物の柱穴 172基
溝跡7条 土坑 1基
- 主な遺物 平安時代の土器 中世の陶磁器



発掘作業風景

成果 1 遺跡の範囲がさらに広がった！

これまで、長江崎遺跡として知られていなかった場所で、平成 30 年度の道路工事中に、多数の柱穴の跡が見つかりました。急ぎよ発掘調査を行ったところ、中世の建物跡や陶磁器などが無数に検出され、遺跡が広がっていることがわかりました。

令和元年度は、その場所よりもさらに北側と東側で調査を実施したところ、同様に中世の建物跡や陶磁器・土器が見つかりました。この調査によって、長江崎遺跡が下図のように広がることわかりました。

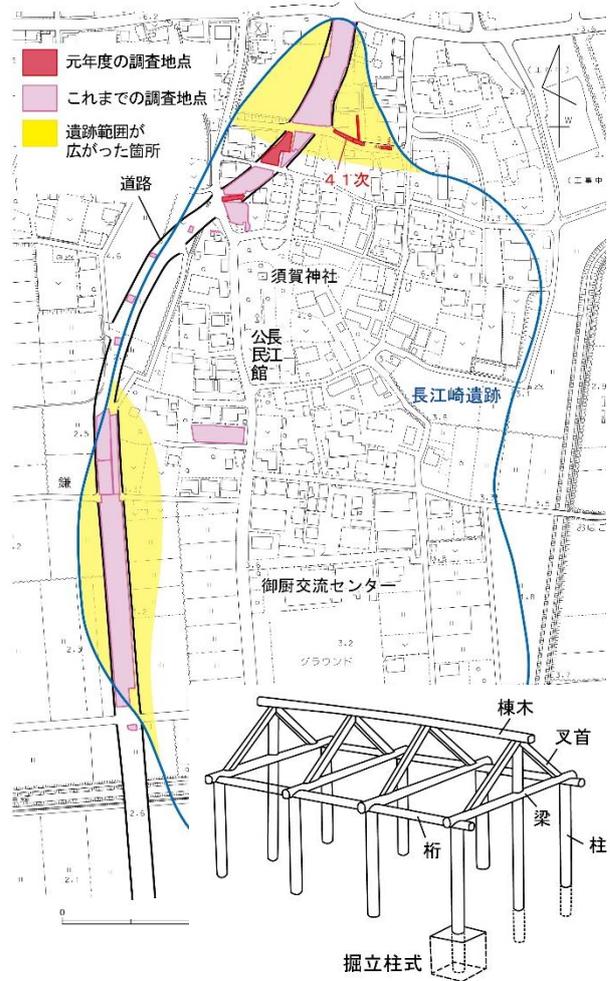
成果 2 かまだみくりや 鎌田御厨に関連する!? 中世の建物群

平安時代、このあたり一帯は鎌田御厨（伊勢神宮領）でした。鎌田御厨の物鎮守は鎌田神明宮で、御厨が作られるより早くから祭られていたと伝えられています。

平安時代の文書に、「鎌田御厨では、村人がかんがい用水を開発し、新田を耕していた」という内容の記述があります。人々はより効率よく収穫を得るために、さまざまな工夫をし、汗を流したようすが想像できます。

調査で見つかった柱穴は掘立柱建物（右図イラスト参照）のもので、小屋、住居、倉庫などさまざまな用途で使用した建物跡と考えられます。

市道関連の調査で見つかった柱穴は、900 基あまりあります。中世の数百年の間、この場所で生活していた私たちの祖先の痕跡を、今後の整理作業で復元していく予定です。新たな成果は、この紙面でまたお伝えします。



掘立柱建物跡復元イラスト

成果 3 柱穴に土器が埋納されていた！



土器の出土状況
(上) 検出状況
(右) 石を取り除いた後

41 次調査地点で、直径 30cm ほどの柱穴の中に、平安時代の終わりか鎌倉時代初めのものと思われる土器が 2 つ重なった状態で見つかりました。土器の上には火を受けて割れた大きな石がひとつ置かれていました。このような出土状況は、一連の調査で初めてです。古い柱穴が埋もれた（埋めた）後で、その近くに新たな建物を建てるための地鎮祭のような祭祀を行った跡の可能性がります。

文化財課販売刊行物紹介

もっと知りたくなる、学びたくなる『遠江国分寺読本』

遠江国分寺

このたび、国の特別史跡である遠江国分寺について写真を豊富に使いわかりやすく解説した『遠江国分寺』の改訂版を刊行しました。

改訂版では、近年の発掘調査で得た知見や遺物、歴史史料に基づく情報を加えました。

ぜひ、お読みください。

●価格 500円 (A4版カラー 24ページ)

●販売場所

＜磐田市埋蔵文化財センター＞

磐田市見付 3678-1 TEL:0538-32-9699 8:30~17:00 休館:土・日・祝

＜旧見付学校＞ 5月6日まで緊急事態宣言により休館

磐田市見付 2452 TEL:0538-32-4511 8:30~16:30 休館:月・祝日の翌日

＜磐田市歴史文書館＞

磐田市岡 729-1 (竜洋支所 2階) TEL:0538-66-9112 8:30~17:00 休館:土・日・祝

※新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受け、休館しているところがあります。開館状況については、各館にお問合せまたは市ホームページをご確認ください

そもそも国分寺って…、どこがかわった？にお応えします！

国分寺とは



遠江国分寺 (南西上空から)

府八幡宮

磐田市役所西庁舎

国分寺と国分尼寺は、奈良時代、伝染病(天然痘と考えられ、日本人の3分の1が死亡したといわれる)や政治の混乱などを仏教の力で安定するように、時の聖武天皇の命令によって建てられました。

遠江国分寺は、国分寺としては全国で3ヶ所しかない国の特別史跡に指定されている寺跡です。

とうほんそぞう
塔本塑像を掲載

近年の発掘調査で見つかった塔本塑像の写真を新たに掲載しました。塔本塑像は、高さ7.9cmの小さな仏像の頭部です。顔が白またはオレンジ色に塗られ、国分寺の塔に彩色された仏像群があったことがわかりました。

平安時代の国分寺の様子を追加

平安時代に書かれた記録をもとに、新たに治安2年(1022)の遠江国分寺の様子を記載しました。この年、遠江国分寺の建物の1つである講堂が大風で倒壊したこと、講堂再建の際、屋根に瓦ではなく葦あしという植物を使っていたことの2点を追加しました。



塔本塑像

WEBで文化財だよりを楽しもう！

パソコンやタブレット、スマートフォンなどから閲覧できます！



©磐田市

ご自宅でいわた文化財だよりを楽しんでみませんか。市ホームページでは、最新号のほかバックナンバーを公開しています。バックナンバーの閲覧方法と、これまでに発行した文化財だよりの中から今月のお勧めをご紹介します！

● 閲覧方法 ●

磐田市ホームページトップページ内のページ番号検索に1007901を入力して検索後、いわた文化財だよりのバックナンバーの一覧ページから閲覧したい号数をダブルクリックしてください。

● 今月のお勧め ●

今年の大河ドラマにも出ている今川家。磐田市にも大きな関わりがあることをご存知でしょうか。文化財だよりでは、第150～152号の3号にわたって今川家を集めています。“今川”のはじまりや、今川義元と磐田の関係などを紹介しているお勧めのバックナンバーです。



職員リレーコラム

歴史のたのしみ

渡邊 武文

みなさんは今年の大河ドラマ「麒麟がくる」をご覧になっていますか。戦国時代に本能寺の変で天下統一目前の織田信長に謀反をおこした明智光秀の生涯を描くとても魅力的な物語です。

そして、私が最近書店で目にしたのが、今年の2月に亡くなられたプロ野球選手・監督であった野村克也氏が光秀について語った『野村克也、明智光秀を語る』（2019年 プレジデント社）という本でした。仕事柄、専門家が書く歴史の本を読む機会が多い私は、スポーツ選手が語る歴史についてあまり興味がありませんでしたが、テレビで拝見したご活躍を通し、野村氏のことに関心がありましたので、購入して読んでみました。

そうしたところ、平凡な選手であった野村氏がスーパースターに上り詰める姿と、苦勞人の明智光秀が信長の重臣にのし上がる姿が重ね合わされ、本能寺の変にいたるまでの経過を抜群の洞察力で考察する興味深い内容でした。「こんな歴史の本があったのか！」と思わず唸らされました。

コロナウイルスの影響で自宅にいる機会が多いこの頃ですが、こうした歴史の本に親しむのも良いのではないのでしょうか。

文化財課で販売している本では、自分に改訂に関わりました3ページ目で紹介されている『遠江国分寺』がお勧めです。2009年から毎年、市内の新中学1年生に配布させていただいており、コンパクトで読み易い内容になっています。

ぜひ市の宝である遠江国分寺跡のことを知ってください。



編集後記 今月号は、文化財だよりのバックナンバーからおすすを紹介しました。お家で過ごす時間のお供に、WEB版文化財だよりいかがでしょうか。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699
◆WEB版は市HPから閲覧できます。

